

# 平成29年度ホタテガイ採苗情報（第1報）

平成29年4月17日

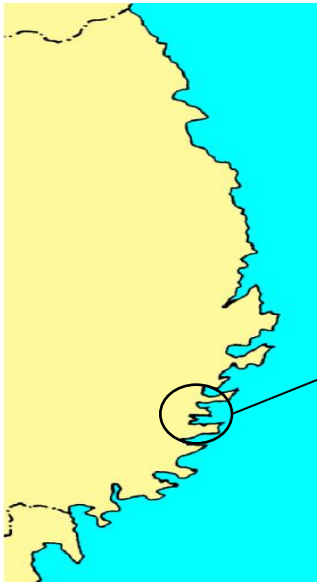
発行：岩手県水産技術センター  
 協力機関：沿海振興局水産部・水産振興センター  
 関係漁業協同組合



## ラーバ調査を開始。水温は高め。

### < 調査結果の概要 >

- 唐丹湾の水深10m層の水温は8.1℃で、昨年同時期（9.1℃）よりは低いものの、例年に比べ高めです。透明度は10mでした。
- 唐丹湾では、200μm未満の小型ラーバ及び大型のラーバが出現していますが、少数であり、採苗器の投入時期には至っていません。
- 試験採苗器への付着稚貝数は、次回からお知らせする予定です。
- < 陸奥湾の状況（4月13日発行青森県ホタテガイ採苗速報） >  
 ラーバの出現数は西湾、東湾とも過去10年の同時期の平均値よりも多い状況であり、ホタテガイの付着数がかなり多くなると予想。西湾では採苗器の投入を開始し、東湾では今週からを見込んでいる。
- < 宮城県の状況（4月13日発行ホタテガイ採苗通報） >  
 ホタテガイ母貝の産卵は始まっているが、採苗時期にはなっていない。



唐丹 4/14 8.1℃  
 20個/m<sup>3</sup>、6個/m<sup>3</sup>  
 — 一個/袋

図1 各定点の調査結果

調査点 調査日 10m層水温  
 ラーバ出現数(200μ未満、200μ以上)  
 試験採苗器垂下期間 付着稚貝数

次報は、4月24日に発行する予定です。

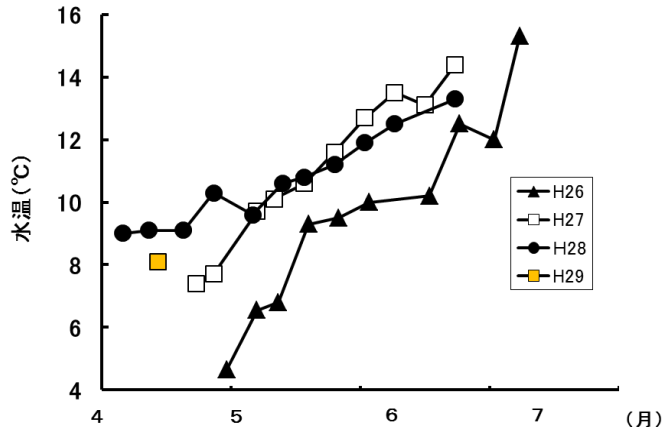


図1 唐丹湾における水深10m層の水温

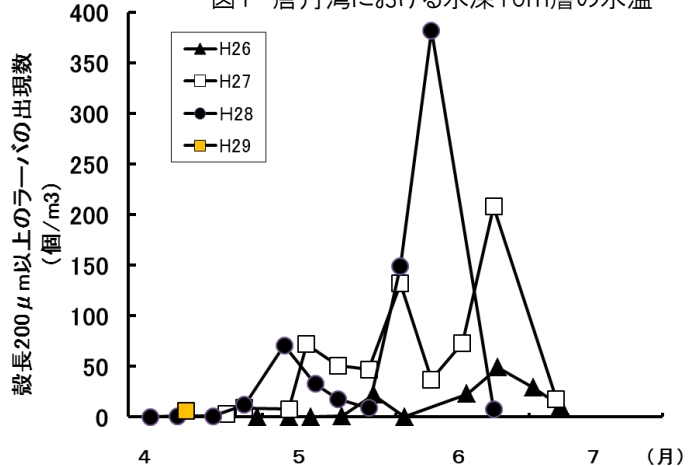


図2 殻長200μm以上のラーバ出現数